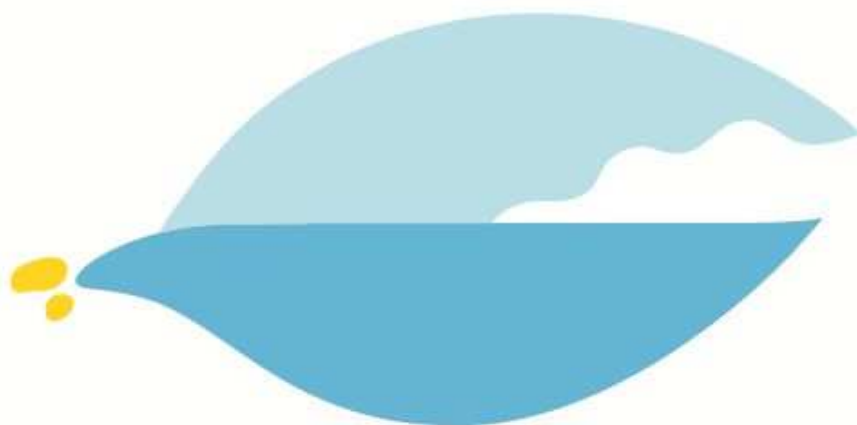


しろ いわ さと  
白 岩 の 里 年 報

令和 6 年度



コロニーにいがた  
白 岩 の 里

社会福祉法人 長岡福祉協会  
コロニーにいがた白岩の里

～社会福祉法人 長岡福祉協会 法人理念～  
自分や家族、友人が利用したいと思う  
サービスの提供

～コロニーにいがた白岩の里 運営方針～  
利用者一人ひとりの意向や希望する生活を大切にし  
ご本人にあった生活全般の支援を行います

## は　じ　め　に

このたび、「白岩の里年報（令和 6 年度）」を刊行しました。

「白岩の里年報」は、昭和 46 年の開設から 4 年目の昭和 49 年に創刊されました。この年は 4 月に六百余名の来賓をお迎えしての完工式が挙行され、これを契機として発刊したとの記録があります。それから 50 年、コロニーにいがた白岩の里は新潟県の知的障害者福祉の中核施設としての役割を果たしてきました。

そして、令和 6 年 4 月 1 日からは、当社会福祉法人長岡福祉協会が運営を担っております。これまでの歴史を引き継ぐとともに、これまで以上に利用者の皆さんの生活が豊かになるよう、お一人おひとりの未来に向かって、そして「あしたへ」、私たち職員も共に歩んでまいります。

新しい歩みを始めたコロニーにいがた白岩の里、今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。

なお、本書には、令和 5 年度分の状況（実績）も掲載いたしました。

令和 7 年 3 月

社会福祉法人 長岡福祉協会  
コロニーにいがた白岩の里  
所長 堀 池 愛 子

# 目 次

## 第 1 部 事業の実施状況

### 第 1 管理・運営編

1	コロニーにいがた白岩の里設置目的	1
2	施設の概要	3
3	施設位置図	5
4	組織系統図及び職員配置図	6
5	給食の管理	7
6	利用者等の健康管理	8

### 第 2 企画調整・事業推進室編

1	企画調整・事業推進室の概要	11
2	担当事業の概況	11

### 第 3 児童部編

1	児童部の概況	14
2	活動の状況	14

### 第 4 成人部編

1	成人部の概況	16
2	活動の状況	16

### 第 5 高齢期更生部編

1	高齢期更生部の概況	17
2	活動の状況	17

### 第 6 重複更生部編

1	重複更生部の概況	18
2	活動の状況	18

## 第 2 部 資料編

### 第 1 令和 6 年度実績

1	市町村別・部別入所者数	21
2	入所者の障害支援区分及び入所児の障害程度	22
3	入所者の在所期間	23
4	入所者の年齢構成	24
5	入所者の手帳所持・年金受給状況	25
6	入所児・者の年度別退所状況	26
7	新規入所者の入所時年齢	28
8	新規入所者の入所前状況	28
9	入所者の当所診療室における診療状況	29
10	入所者の給食状況	31

11	短期入所及び日中一時支援事業の実施状況 -----	32
12	実習生受入状況 -----	33
13	ボランティア受入状況 -----	33
14	視察者・見学者受入状況 -----	33
15	会議・職員研修 -----	34

## 第2 令和5年度実績

1	市町村別・部別入所者数 -----	36
2	入所者の障害支援区分及び入所児の障害程度 -----	37
3	入所者の在所期間 -----	38
4	入所者の年齢構成 -----	39
5	入所者の手帳所持・年金受給状況 -----	40
6	入所児・者の年度別退所状況 -----	41
7	新規入所者の入所時年齢 -----	43
8	新規入所者の入所前状況 -----	43
9	入所者の当所診療室における診療状況 -----	44
10	入所者の給食状況 -----	46
11	短期入所及び日中一時支援事業の実施状況 -----	47

## 第3部 年表

コロニーにいがた白岩の里沿革 -----	49
----------------------	----

## 第 1 部 事業の実施状況

## 第1 管理・運営編

### 1 コロニーにいがた白岩の里設置目的

当施設は、知的障害児者を対象とする福祉型障害児入所施設及び利用対象の異なる4つの障害者支援施設からなる知的障害児者支援の総合的施設である。

中高年齢期の知的障害者及び身体障害を重複する知的障害者を対象とする施設では地域生活への移行を目標としている。

また、重度の知的障害児者を対象とした施設では、専門的支援体制のもとに情緒の安定及び身辺処理能力の向上を図り、できる限り社会生活に適応できる能力を養うことを目標とするなど、知的障害児者の能力に応じた支援を行い、地域生活移行・社会復帰を図る一貫した機能を有する施設として設置されたものである。

### 【運営計画】

#### 1 基本方針

- (1) 「自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供」を基本理念に、利用者が安心して生活できるよう支援を行う。
- (2) 意思決定支援を行いながら他事業所や関係機関と連携し今後の方向性について再確認していく。
- (3) 労働条件等の異なる県派遣職員と法人職員とが協働することを考慮し、労働環境の整理、構築に努める。

#### 2 重点事項

##### (1) 人員の確保、定着、離職防止

- ア 県派遣職員と法人職員との協働関係の構築
  - ・派遣職員の対応
  - ・法人職員のフォローアップ
- イ 人員確保
  - ・採用イベント、活動への積極的参加、企画
  - ・採用サイトの展開

##### (2) 現状の事業運営の理解と再確認

- ア 利用者、家族等との信頼関係の構築
  - ・家族の方々との対話を随時実施
  - ・利用者の特性、個性を既存の記録に満足せず、新たな視点で確認しサービス向上を図る
- イ 支援部門の現状の理解と確認
  - ・業務改善と適正な人員配置の具体的検討
- ウ 管理部門の精査
  - ・支出内容の確認と指標の検討
  - ・建物設備の状態確認

### (3) 中期的視点での事業計画立案

- ア 意思決定支援を基に、利用者の今後の生活における検討体制
  - ・すべての利用者へ地域移行及び日中の過ごし方についての意向確認
  - ・利用者の状態や意向に合わせ、法人内の既存障害施設や高齢施設への住み替えについて検討
- イ 中期施策の策定
  - ・今後の施設機能やあり方を踏まえた中期的な事業の方向性の立案と更新
  - ・建物設備の改修、修繕計画の立案



## 2 施設の概要

(1) 設置・経営主体 経営主体：社会福祉法人 長岡福祉協会 設置：新潟県

(2) 所在地 〒940-2502 新潟県長岡市寺泊藪田 6789 番地 4  
電話（代表） 0258-75-3131  
F A X 0258-75-3132

### (3) 施設の規模等

敷地面積 187,093 m<sup>2</sup> (56,694 坪)  
建物面積 延 21,520.96 m<sup>2</sup>  
建設年次 昭和 45 年度から 49 年度までの 5 か年  
(居住棟の改築 平成 8 年から 12 年度までの 5 か年)

### (4) 施設及び障害福祉サービスの種類と対象者

#### ア 福祉型障害児入所施設・障害者支援施設

##### ○ 児童部 (障害児入所支援・生活介護・施設入所支援)

障害の最も重い知的障害児者

情緒の安定及び身辺処理能力の向上を図るとともに、できる限り社会生活に適応できる能力を養うことを目的とする

#### イ 障害者支援施設

##### ○ 成人部 (生活介護・施設入所支援)

障害の最も重い知的障害者

情緒の安定及び身辺処理能力の維持向上を図るとともに、できる限り社会生活に適応できる能力を養うことを目的とする

##### ○ 高齢期更生部 (生活介護・施設入所支援)

中高齢期の知的障害者

加齢により心身機能及び日常生活能力が低下した利用者に適切な支援を行うとともに、地域生活への移行を目指すことを目的とする

##### ○ 重複更生部 (生活介護・施設入所支援)

身体機能上の障害がある知的障害者

日常生活上の介護、身体機能の維持・回復、地域生活への移行準備の支援を行うことを目的とする

ウ 入所定員及び在籍者数

(令和7年3月31日現在)

施設種別	実施している障害福祉サービス	部 名	定員	在籍者数		
			(人)	男	女	計
福祉型障害児入所施設／障害者支援施設	・障害児入所支援 <sup>注1</sup> ・施設入所支援 <sup>注2</sup> ・生活介護 <sup>注3</sup>	児童部	25	16	2	18
障害者支援施設	・施設入所支援 ・生活介護	成人部	60	34	17	51
		高齢期更生部	30	16	8	24
		重複更生部	30	13	10	23
合計			145	79	37	116

注 障害福祉サービス等の根拠法

<sup>注1</sup> 障害児入所支援…児童福祉法第7条

障害児入所施設に入所する障害児に、日常生活の指導及び自立のために必要な知識技能を付与する

<sup>注2</sup> 施設入所支援…障害者総合支援法第5条第10号え

施設に入所する障害者に、主に夜間・休日において、入浴、排せつ又は食事の介護等日常生活上必要な支援を行う

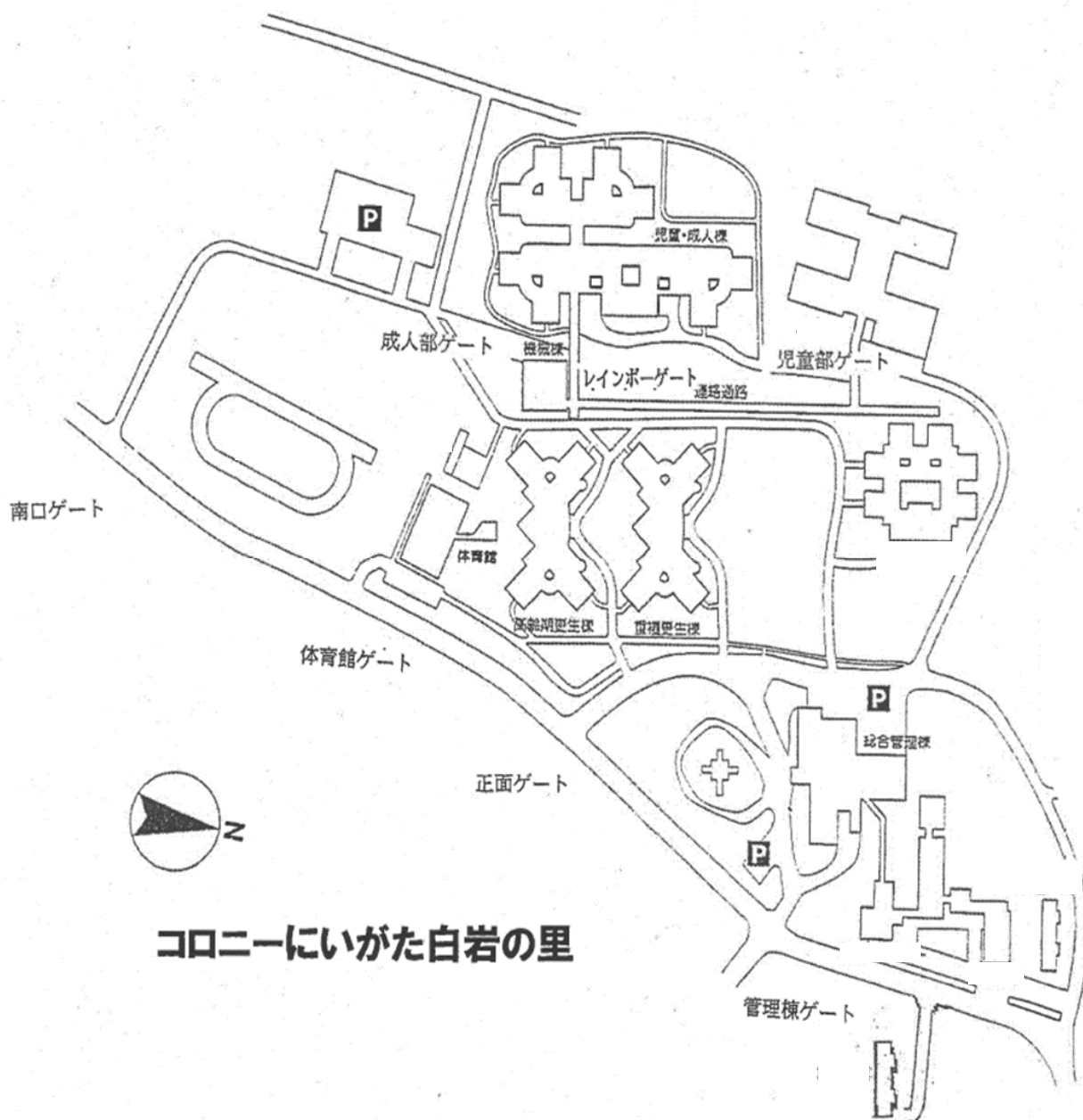
<sup>注3</sup> 生活介護…障害者総合支援法第5条第7号

常時介護を要する障害者に、主に昼間において、入浴、排せつ又は食事の介護等日常生活上必要な支援を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する

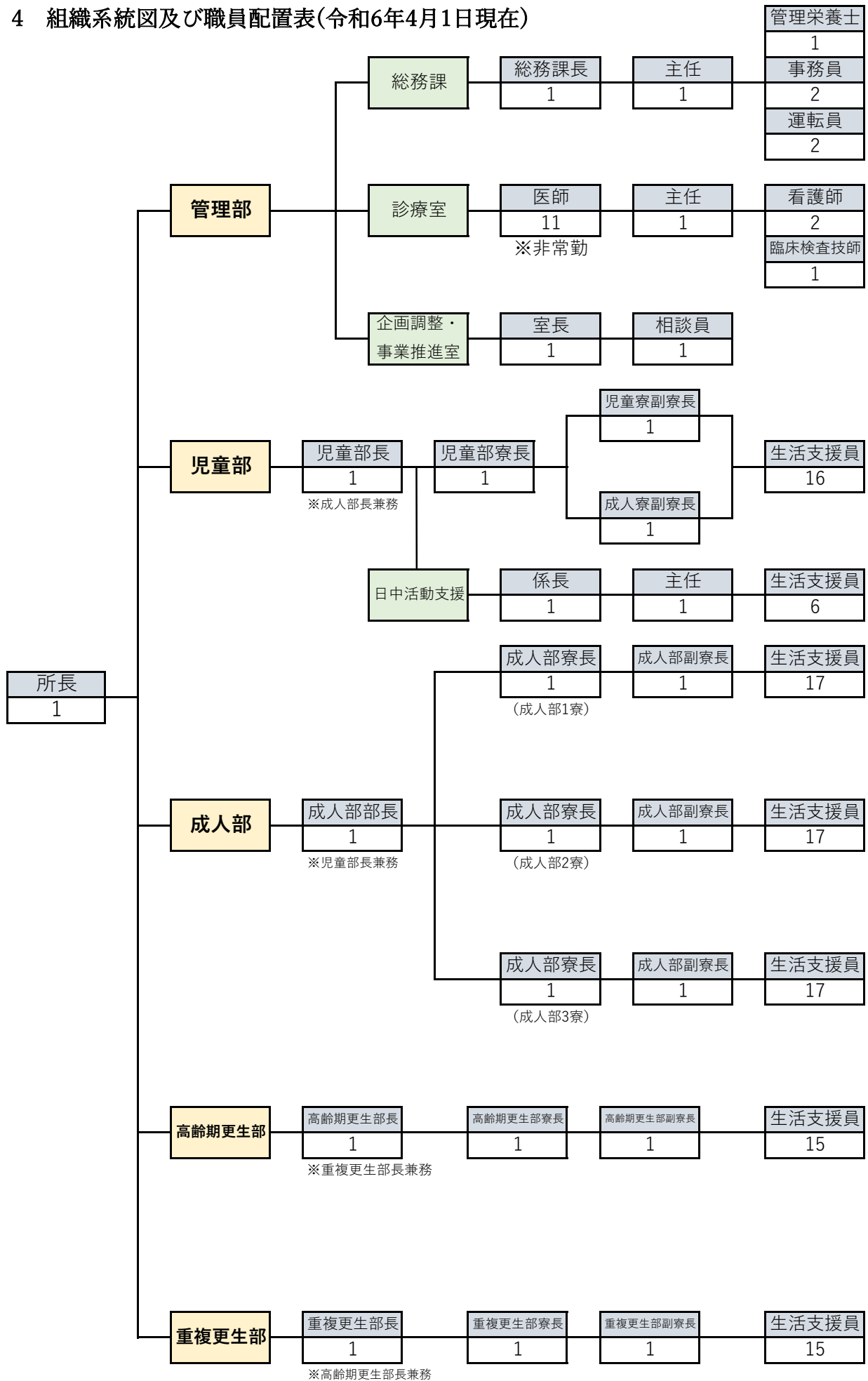
### 3 施設位置図

当施設は、県中央部で、佐渡弥彦米山国定公園の中に位置し、砂丘地の広大で変化に富んだ自然環境を活用して、利用者の居住棟等の建物が部門別に建設されている。

また、風雨や雪に備え、各棟間はすべて地下連絡網で結ばれている。



4 組織系統図及び職員配置表(令和6年4月1日現在)



職員数 計 134 ※医師(非常勤)を除く

## 5 給食の管理

### (1) 給食業務の一部委託

当施設は調理業務等を委託している。献立の作成、食数の把握、栄養管理等は当施設が行い、食品材料の発注、納品、検収、保管、調理、配膳、下膳、食器の洗浄消毒及び給食設備の管理保全等の業務は受託者が行なっている。

### (2) 重点事項

- ア 食品衛生の保持と食中毒の防止を図った。  
(年間を通して食中毒の予防の徹底を図った。)
- イ 家庭的な温かい思いやりのある給食を目指した。
- ウ 正しい食事マナーの習得と栄養への関心を高めた。

### (3) 献立

個人の身体状況に合わせ食事の提供を行っている。  
栄養面だけでなく、嗜好等にも配慮し、季節感のある食事内容となるように努めた。  
月1回の誕生会希望メニューは入所者の希望に添った献立を取り入れた。  
嗜好調査や残食調査を実施し献立に生かすよう努めた。  
咀嚼や嚥下の状態により食品の形態調整を適切に行うため、マニュアルを作成し、個人の状態に合った給食の提供に努めた。  
医師の食事箋に基づき療養食等（糖尿病食、アレルギー、軟菜食・粥食）の提供に努めた。

### (4) 調理

調理業務全般を委託しており、受託者との連絡を密にし、安全な食事づくりを行った。  
大量調理施設衛生管理マニュアル（厚生労働省）に基づき、食中毒の予防に努め調理業務を行った。

### (5) 配膳及び下膳

配膳・下膳については受託者が行っている。

## 6 利用者等の健康管理

### (1) 基本的方針

入所者が心身ともに健康で快適な生活が送れるように診療室を設置し、医療・保健衛生・健康管理に取り組むと共に、職員の健康管理にも努める。

### (2) 診療業務

診療所として内科（他の診療科に属さない疾病も含める）、精神科、歯科を設置し入所者の疾病の診療を行うとともに、衛生管理、健康管理の徹底と疾病の予防及び早期発見・早期

治療に努めた。また、令和6年5月から皮膚科の所内診療を月2回開始した。

#### ア 診療体制

診療科	担当医師数 (非常勤嘱託医)	月	火	水	木	金	土	診療時間等
内 科	5		○		○			午 後
							○	午 前(第1～4土曜日)
精神科	1			○				午 後
歯 科	5			○				1日(2～3回/月、第2・4・5)
				○				1日(2回/月、第1・3)
					○			1日(2回/月、第1・3)
					○			1日(2回/月、第2・4)
皮膚科	1				○			午 前(第2、4木曜日)

部 署	担当職員数
内 科	看護師 3
精神科	
歯 科	
皮膚科	
検 査	臨床検査技師 1

#### イ 日常の健康管理

毎朝9時30分までに各部から提出される治療日誌の写しにより入所者の健康状態を把握し、嘱託医師及び職員との連携の中で適切な看護にあたった。また、必要に応じ所外の医療機関への受診を勧めるなど利用者の健康管理に努めた。

#### ウ 定期的な健康管理

○ 入所者の健康診断を行い、疾病の予防並びに早期発見、早期治療に努めた。

##### (ア) 内科検診

年2回（春と秋）担当内科医師により診療室内科において実施した。

##### (イ) 歯科検診

年1回、担当歯科医師が診療室歯科で実施した。

##### (ウ) 胸部X線間接撮影（委託）

法律の規定に基づいて、入所者（65歳以上）に対し年1回健康診断を実施した。

○ 予防接種を行い、感染予防に努めた。

##### (ア) インフルエンザ予防接種（利用者、職員）

(イ) 新型コロナワクチン予防接種（利用者）

エ 入所時検査

入所時に検査を行い、入所時における健康状態を把握するとともに、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

オ 感染症、伝染病に対応した諸連絡体制の強化

長岡健康福祉環境部、医療機関、各部等関係機関との連絡を密にし、適切に対応した。

カ 休日・夜間の医療体制について

令和5年度救急診療当番表に基づき対応した。また、救急搬送ではない事例には県中央医師会応急診療所を受診することもあった。

キ 治療保健担当者会議

健康管理業務を円滑、かつ適正に執行するため、各部との連絡調整を行い問題事項の検討を行った。開催日は4月、6月、9月、12月、3月の年5回。第3木曜午前10時30分から実施した。感染対策に関して、令和6年12月に感染症対策の研修を実施した。

ク 保健衛生に関する年間計画

健康診断・検査・衛生に関する計画

- ・春の健康診断（4～7月）
- ・秋の健康診断（9～11月）
- ・歯科健診（4月～）
- ・精神科服薬者検査（年2回）
- ・職員の給食検便（毎月一回）

(3) 薬局業務

薬剤師不在にて院外処方（さくら町調剤薬局）に依頼  
一部薬品のみ、内科医、皮膚科医が院内処方を行った

ア 調剤

調剤した薬剤が適切に服薬されるよう入所者及び職員に対し、服用・適用に関する指導や副作用・使用上・保管上の注意など必要な情報提供を行った。

(ア) 診療に伴う調剤

(イ) 定期配薬に伴う調剤

(ウ) 服薬指導

イ 情報収集・伝達

医薬品に関する各種情報の収集、評価、整理、蓄積等を行い、日常の薬剤業務に利用すると共に、必要時、嘱託医師をはじめ職員に対し情報の提供を行った。

ウ 薬剤管理

備蓄品の適切な管理点検に努めた。

薬剤師不在にて、内科医の指示の下に看護師が代行した。

#### (4) 臨床検査業務

##### ア 診療に基づく臨床検査

各科嘱託医師の指示に基づいて臨床検査を行い、必要に応じて外注した。

##### (ア) 随時検査

内科、精神科、診療に基づいた臨床検査を行った。

##### (イ) 定期的検査

内科及び精神科の定期処方服薬者、その他定期検査を必要とする入所者に対し実施した。

##### イ 健康診断に基づく検査

##### ウ 入所時検査

##### エ 検便

職員の給食検便（毎月 1 回）

#### (5) 事故、急病対策について

ア 事故、急病等の連絡を受けた時は、状況を正確に把握し必要な処置を行う。

また、必要に応じて主治医の指示を仰いだ。

イ 医療事故発生については原因、処置、事後の対策等を所長に報告するとともに情報を共有化し再発防止に努めた。



## 第2 企画調整・事業推進室編

### 1 企画調整・事業推進室の概要

企画調整・事業推進室は、障害児・者の地域生活と社会参加の推進を図ることを基本とし、施設で提供するサービス利用の相談に関する業務、入所者の意思決定支援に関する取組、施設内における障害福祉サービス等の適切な提供に関する協議・企画・運営、地域住民や地域機関等との地域連携を行っている。

#### (1) 利用者支援

- ・入退所相談
- ・短期入所・日中一時支援事業相談
- ・障害児の一時保護等受入相談
- ・意思決定支援に関する取組

#### (2) 企画・運営

- ・提供サービスの検討・調整
- ・施設内関連会議の運営
- ・苦情解決
- ・調査・統計
- ・地域連携に関する取組

#### (3) 人材育成・研修

- ・所内職員研修（研修実施・所外研修派遣）
- ・実習・見学等の受入れ

### 2 担当事業の概況

#### (1) 利用者支援

当所への入所や短期入所等の利用に関する相談を受け付け、利用調整を行った。また、意思決定支援の取組においては、各部と連携し取組に向けた職員理解や実施体制・方法等の検討を行った。

相談種別	入所	短期入所	日中一時支援	一時保護	その他
相談件数 (実人数)	33	14	1	3	3

※新規相談のみ 電話相談含む件数

#### (2) 企画・運営

ア 提供サービスの検討・調整

(ア) サービス検討委員会 10回

サービス提供体制について協議・検討を行い、サービス提供における適切かつ円滑な実施と支援の質の向上や権利擁護の推進を図った。

(イ) 虐待防止・身体拘束等適正化委員会 10回

利用者の権利擁護に関わる事項、虐待の防止および身体拘束等の適正化のための対策に関わる事柄について協議・検討を行い、所内における虐待の防止及び対応の徹底を図った。

## ア 施設内関連会議の運営

### (ア) 事故防止検討・対策部会 6回

各部寮で起きたヒヤリハット、事故の発生状況について情報を集約し、原因や傾向の分析、再発防止策が適切に実施されているか等の検証を行い、事故の未然防止、事故発生時の速やかな対応につながるよう検討・協議を実施した。

### (イ) 研修部会 5回

職員の現状と求められる知識・技術等を踏まえ、施設内で実施する研修の企画運営を行い、必要な研修を実施することにより職員の資質向上を図った。

### (ウ) 業務改善部会 6回

業務における現状・課題を把握し、定期的な業務の見直しを行うとともに業務全般における効率化・省力を図り、利用者支援の質の向上を図った。

## イ 苦情解決

利用者からの苦情に適切に対応するため、社会福祉法第 82 条に基づき、苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を設置し、苦情解決に努めた。

### 苦情の受付状況

#### 申出方法

	口 頭	電 話	郵 送	メール	意見箱	その他
件 数	0	0	0	0	0	0

## ウ 地域連携に関する取組

提供しているサービス内容を明らかにするとともに、地域との連携による効果的な事業運営、サービスの透明性および質の確保、利用者の権利擁護等に寄与することを目的として地域連携推進会議を開催した。

### 地域連携推進会議の開催

日時：令和 7 年 3 月 7 日(金) 午後 2 時から 4 時

※会議の開催と併せて、施設見学を実施

## (3) 人材育成・研修

### ア 所内職員研修

所内研修 14 回 延 263 人

所外研修（派遣研修）

（県内主催）29 回 延 27 人 （県外主催）1 回 延 2 人

イ 実習・見学等

(ア) 学生実習生受入れ

4 人 延 64 日

(イ) 社会奉仕体験活動（教職員体験実習）受入れ

2 回 10 人

(ウ) 視察研修受入れ（視察者・見学者）

34 回 延 160 人

(エ) ボランティア受入れ

1 回(1 団体/ 個人 0 人) 延 2 人

### 第3 児童部編

#### 1 児童部の概況

##### (1) 児童部の概況

児童部の前身である児童援護課は、昭和 48 年度に定員 50 人で開所し、翌 49 年には更に 50 床増設し定員 100 人とした。その後、昭和 57 年度に定員を 75 人に減員するとともに、施設内に治療訓練棟を設けた。

開設から 25 年経過した平成 10 年には、施設の老朽化や加齢児の増加等により改築及び再編が行われ、児童（1 寮制）と成人（3 寮制）とし児童部は新たに定員 25 人で開設した。また、短期入所の定員は 2 人である。

入所児童のうち学齢児は、県立吉田特別支援学校の小・中学部及び高等部の訪問教育を受けている(※)。また、高等部を卒業した児童は、専任指導員のもとで治療訓練を受けている。

※県立吉田特別支援学校白岩分室（小・中学部（昭和 54 年度開設）、高等部（平成 10 年度開設）は平成 26 年 3 月閉室し、現在は施設訪問学級として実施。

平成 24 年の児童福祉法の改正により、18 歳以上の者については、成人としてふさわしい、より適切な支援を行っていくため障害者施策で対応することとなった（経過期間あり）。そのため、平成 24 年 10 月から 18 歳以上の者については児者併設の障害者支援施設として支援を行い、令和 3 年度からは児童棟（定員 10 人）、成人棟（定員 25 人）に改編し、福祉型障害児入所施設及び障害者入所施設として新たに支援を開始した。令和 6 年度からは指定管理に伴い児童棟（定員 10 人）、成人棟（15 人）に改編されている。

##### (2) 入所児童の現況

児童

	入所者数	平均年齢	平均在所期間
年度当初	4 人	13 歳 6 か月	2 年 7 か月
年 度 末	5 人	13 歳 7 か月	3 年 6 か月

成人

	入所者数	平均年齢	平均在所期間
年度当初	13 人	39 歳 0 か月	26 年 4 か月
年 度 末	13 人	40 歳 0 か月	27 年 4 か月

#### 2 入退所の状況

ア 入所 1 人（児 R6. 11. 18）

イ 退所 0 人

#### 3 活動の状況

##### (1) 寮生活

安全の確保や情緒の安定を寮生活の最重点課題とし、一人ひとりの障害と能力に応じた適切な支援と療育を行なうように努めた。

また、援護・育成における家族との連携を重視し、日常的に情報を提供するとともに、理解と協力を得ながら、諸行事や家庭実習を実施した。

##### (2) 日中活動支援（令和 7 年 3 月 31 日現在）

日中活動支援は、児童部の学卒者と成人部利用者を対象として、障害特性や個別的目標に

応じてグループあるいは個別的に様々な療育プログラム（班活動、ミュージックケア、社会生活体験活動など）を通じて、身体活動機能の維持及び強度行動障害等の軽減や改善を図るとともに、より豊かで生き生きとした生活につながるよう個別支援計画に対応した活動支援を行った。

活動は、月曜日から金曜日の1限から4限（午前1・2限、午後3・4限）までの時間で次のとおり実施した。

1限は、利用者の障害の特性や個別的目標に応じて編成した5つの班に分かれて、班ごとに歩行や作業等の活動を行った。

2限は、ミュージックケアと一部班活動を行った。

3限は、リラックス班、ウォーキング班、エコ班の3班に編成し活動を行った。

4限は、強度行動障害等の軽減を目標にするだけでなく、余暇活動の拡大などによる豊かな生活のステップアップを目指すための活動を行なった。

### **（3）学校教育（令和7年3月31日現在）**

児童生徒は5人（小学部2人、中学部2人、高等部1人）在所している。学籍児が5人しかいないため、訪問教育で週3日授業を受けている。

## 第4 成人部編

### 1 成人部の概況

#### (1) 成人部の概況

成人部の前身である児童援護課は、昭和48年度に定員50人で開所し、翌49年には50床を増設、定員100人とした。昭和57年度に定員75人に減員し、平成10年度に当所の施設・組織を再編成により現在地に移築し、定員75人で開設した。当部は3つの寮で構成され、各寮定員25人である。男性が1寮及び2寮で、女性が3寮で生活する。

短期入所の定員は各寮2人である。平成18年10月、障害者自立支援法実施に伴い、当該市町村と本人の契約による日中一時支援事業を開始した。

平成22年4月1日、旧法指定施設から新事業体系に移行し生活介護と施設入所支援事業を実施した。平成25年4月、障害者総合支援法施行に伴い、権利擁護意識を高め、障害特性に配慮した相互の関係調整、意思決定支援など利用者主体の支援に取り組んでいる。

#### (2) 入所者の概況

	入所者数	平均年齢	平均在所要間
年度当初	54人	46歳0か月	18年8か月
年度末	52人	47歳1か月	19年7か月

(注) R6年度中、入所者0人、退所者2人

#### (3) 入退所の状況

- ア 入所 0人
- イ 退所 2人
- ウ 退所理由別内訳

退所理由	家庭復帰	他施設入所	コロニー他部入所	GH入所	入院	死去	計
退所者数	0人	1人	0人	0人	0人	1人	2人

## 2 活動の状況

#### (1) 寮生活

利用者の健康と体力の保持、安全の確保など、生活を支える基本的な事項に重点をおいた生活支援を行っている。障害と行動特性を理解し、ひとりひとりの状況に応じて、でき得る環境調整を図りながら、支援手順を組み立てている。

個別や小グループの活動、社会生活の体験など、QOLの向上に取り組んでいる。

また住み慣れた地域への生活移行を目指し、家族の協力やつながり方、面会や外出外泊等の機会を活かし支援情報の提供や意見交換を行うとともに、関係機関と積極的に連絡調整を行っている。

#### (2) 日中活動支援

児童部（日中活動支援部門）と連携した個別・グループ別の活動を行い、日中活動の支援を行った。活動の内容については、前述「児童部の概況」のとおりである。

## 第5 高齢期更生部編

### 1 高齢期更生部の概況

#### (1) 高齢期更生部の概況

高齢期更生部の前身である更生課は、昭和46年に利用定員100人の更生施設として開設された。

当所の施設・組織の再編成により、高齢期更生部は加齢又は長期にわたる施設入所により心身機能や日常生活能力が低下した知的障害者を対象とし、平成11年7月に入所定員50人で開設した。入所対象年齢はおおむね40歳以上であり、短期入所者用の定員は、男女各2人である。

平成24年4月に新事業体系へ移行し、生活介護と施設入所支援を実施する施設となり、職員の夜間の勤務体制を宿直から夜勤体制に変更した。その後、平成26年に定員を40人に指定変更した。

支援面では、心身機能や日常生活能力の安定及び維持に重点をおいて、利用者の望む暮らしを提供できるよう取り組んでいる。

#### (2) 入所者の概況

	入所者数	平均年齢	平均在所要期間
年度当初	25人	64歳0か月	16年4か月
年度末	24人	64歳10か月	17年4か月

(40歳未満0人、40歳代3人、50歳代4人、60歳代8人、70歳代8人)(最高年齢80歳)  
(※R7.3.31時点)

#### (3) 入退所の状況

- ア 入所 0人  
イ 退所 1人  
ウ 退所理由別内訳

退所理由	家庭復帰	他施設入所	コロニー他部入所	GH入所	入院	死去	計
退所者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人

## 2 活動の状況

#### (1) 基礎活動、グループ活動、個別活動

基礎活動は利用者の心身の機能低下を防ぐことを目的にラジオ体操、ストレッチ等軽運動、歩行の支援をした。

グループ活動は、生きがいとなる活動を支援した。具体的活動内容は、ものづくり(はり絵、工作、絵画等)、レクリエーション(ゲーム)、カラオケ及び音楽(音遊び、ミュージックケア)等である。

個別活動は、個々の支援計画の実現を図り、楽しみや生きがいづくりの一助となる活動を支援した。

#### (2) 寮活動

余暇の充実を図るため月1回、利用者、職員で計画した社会体験活動やレクリエーションを行った。利用者が意思を形成したり、表明できたりできるよう面談や支援を工夫した。

#### (3) 利用者本人活動

利用者が主体となり自治会活動を行なって、行事等の計画に反映した。

#### (4) 余暇活動

華道、茶道等、講師を招いての余暇活動を行った。

## 第6 重複更生部編

### 1 重複更生部の概況

#### (1) 重複更生部の概況

重複更生部の前身である更生課は、昭和46年に利用定員100人の更生施設として開設された。

当所の施設・組織の再編成により、重複更生部は平成12年6月1日に肢体不自由、視覚障害、聴覚障害等の身体機能上の障害により、特別の配慮を必要とする知的障害者の福祉の向上を図るため、利用定員50人で開設された。短期入所者用の定員は、男女各2人である。

平成23年4月に新事業体系へ移行し、生活介護と施設入所支援を実施する施設となり、夜間の勤務体制を宿直から夜勤体制に変更した。その後、平成26年に定員を40人に指定変更した。

利用者一人ひとりのニーズに合わせて個別支援計画を作成し、利用者の意思をくみ取り、望む暮らしを提供できることを目標に支援を行っている。

#### (2) 入所者の状況

	入所者数	平均年齢	平均在所期間
年度当初	23人	58歳7か月	19年6か月
年度末	23人	59歳7か月	20年5か月

利用者の年齢は44歳から72歳と幅広いが、50歳以上が8割となっており、60歳以上が4割を占めている。

身体障害の状況は、肢体不自由が12人となっているが、その他にも聴覚障害5人、視覚障害1人などとなっており、様々な身体障害のある方が生活されている。

#### (3) 入退所の状況

- ア 入所 0人  
イ 退所 0人  
ウ 退所理由別内訳

退所理由	家庭復帰	他施設入所	コロニー他部入所	GH入所	入院	死去	計
退所者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

## 2 活動の状況

#### (1) 生活支援

地域生活等を想定した広い視点での個別支援計画に基づき、利用者が主体的に自分の生活を築くことができるようになること（自己実現）を目的として、一人ひとりの人権を尊重しながら適切な健康管理と日常生活の支援を行った。利用者が意思を形成したり、表明できたりできるよう面談や支援を工夫した。

#### (2) 日中活動支援

個別支援計画に基づき、障害の状況と特性やニーズに合わせた様々な活動を提供した。



個別活動及び集団活動を行い、創作・余暇・音楽等社会生活への適応力を高める支援を行った。

**(3) 社会的体験の拡大**

少人数に分かれて、各々の希望の外出や外食を楽しんだ。また日ごろの活動で創作した作品を地域の芸術祭に出展した。

**(4) 地域交流・ボランティア活動**

音楽ボランティアの受入れや、前年度に引き続き寺泊駅の風鈴飾りに参加した。満足感を持った利用者の様子が見られた。



## 第 2 部 資料編

※「第 2 令和 5 年度実績」については新潟県運営時の統計データとなるため、  
参考資料として掲載するものとなります。

## 第1 令和6年度実績

### 1 市町村別・部別入所者数

令和7年3月31日現在 (人)

市町村	部	児童部		成人部		高齢期 更生部		重複更生部		計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
聖籠町		0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2
弥彦村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田上町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿賀町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出雲崎町		0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
湯沢町		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
津南町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
刈羽村		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
関川村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
粟島浦村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町村計		1	1	2	1	1	0	0	0	4	2	6
新潟市		6	0	14	9	6	2	4	1	30	12	42
長岡市		4	0	4	3	4	2	2	6	14	11	25
上越市		1	0	2	0	1	1	1	0	5	1	6
三条市		1	1	1	0	1	0	3	2	6	3	9
柏崎市		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
新発田市		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
小千谷市		0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	3
加茂市		0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	3
十日町市		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
見附市		0	0	0	2	1	1	0	0	1	3	4
村上市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燕市		1	0	5	0	2	2	3	1	11	3	14
糸魚川市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
妙高市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五泉市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐渡市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿賀野市		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
魚沼市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南魚沼市		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
胎内市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市計		15	1	33	16	15	8	13	10	76	35	111
県計		16	2	35	17	16	8	13	10	80	37	117
県外		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		16	2	35	17	16	8	13	10	80	37	117

## 2 入所者の障害支援区分及び入所児の障害程度

令和7年3月31日現在（人）

障害支援区分 入所施設		6	5	4	3	2	1
児童部 (区分認定済み者)	男	11	2				
	女						
	計	11	2				
成人部	男	25	10				
	女	14	3				
	計	39	13				
高齢期更生部	男	4	6	6			
	女	3	4		1		
	計	7	10	6	1		
重複更生部	男	2	7	3		1	
	女	6	3		1		
	計	8	10	3	1	1	
合計	男	42	25	9		1	
	女	23	10		2		
	計	65	35	9	2	1	

令和7年3月31日現在（人）

障害程度 入所施設		障害程度		
		最重度	重度	中・軽度
児童部 (児童のみ計上)	男	3		
	女	2		
	計	5		

### 3 入所者の在所期間

令和7年3月31日現在 (人)

期 間 部		1 年 未 満	1 ㄱ 2	2 ㄱ 3	3 ㄱ 4	4 ㄱ 5	5 ㄱ 6	6 ㄱ 7	7 ㄱ 8	8 ㄱ 9	9 ㄱ 10	10 ㄱ 11	11 ㄱ 12	12 ㄱ 13	13 ㄱ 14	14 ㄱ 15	15 ㄱ 16	16 ㄱ 17	17 ㄱ 18	18 ㄱ 19	19 ㄱ 20	20 年 以 上	総 計	
児童部	男				2			1													1	12	16	18
	女	1	1																				2	
成人部	男										2	1	2	1	1		1	1				26	35	52
	女		1			1				1		1	1	2		1	1	1				7	17	
高齢期更生部	男							1								2	1			1		11	16	24
	女					1															1	6	8	
重複更生部	男							1								1			1	1		9	13	23
	女																1					9	10	
計	男				2			3			2	1	2	1	1	3	2	1	1	2	1	58	80	117
	女	1	2			2				1		1	1	2		1	1	2			1	22	37	

#### 4 入所者の年齢構成

令和7年3月31日現在 (人)

部 年齢	児童部			成人部			高齢期更生部			重複更生部			計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
8													
9		1	1										1
10													
11	1		1										1
12													
13	1		1										1
14		1	1										1
15													
16													
17													
18	1		1										1
19													
20													
21													
22													
23													
24				1		1							1
25													
26													
27													
28				1		1							1
29													
30					1	1							1
31													
32													
33					1	1							1
34	1		1		1	1							2
35					1	1							1
36	1		1		2	2							3
37	2		2	1		1							3
38				4	1	5							5
39				1	1	2					1	1	3
40				1		1							1
41	3		3	1	1	2							5
42	3		3										3
43	1		1										1
44	1		1								1	1	2
45	1		1	1		1				1	1	2	4
46				3		3	1	1	2				5
47				2	1	3				1		1	4
48				4	1	5							5
49				1		1	1		1	1		1	3
50					1	1							1
51				2		2	2		2				4
52				4		4							4
53				1	1	2	1		1				3
54											1	1	1
55					1	1							1
56				2		2					2	2	4
57					1	1							1
58					1	1	1		1	1		1	3
59													
60				1		1				2		2	3
61				1		1				1	1	2	3
62								1	1				1
63				2		2				1		1	3
64				1		1	2		2				3
65							2		2	2		2	4
66													
67							1		1		1	1	2
68							1	1	2	1		1	3
69											1	1	1
70							1		1				1
71								1	1		1	1	2
72							1		1	2		2	3
73													
74					1	1		1	1				2
75							1	3	4				4
76													
77													
78													
79													
80							1		1				1
計	16	2	18	35	17	52	16	8	24	13	10	23	117

## 5 入所者の手帳所持・年金受給状況

令和7年3月31日現在（人）

	身体障害者手帳所持							精神障害者保健福祉手帳			
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	1級	2級	3級	計
児童部	1	1					2				
成人部	2	2		2		2	8				
高齢期更生部		1	1	1	1	1	5		1		1
重複更生部	3	4	7	3		4	21				
計	6	8	8	6	1	7	36		1		1

※異なる種類の身体障害が重複する利用者については、総合等級を基に集計する。

（身体障害内訳）

	視覚	聴覚	平衡	音声・言語または 咀嚼機能	肢体 不自由	内部 障害
児童部	1				1	
成人部		2			4	
高齢期更生部		1			4	
重複更生部	1	6		3	14	1

※異なる種類の身体障害が重複する利用者は、障害種別に計上するため身体障害者手帳所持者の実数と異なる。

	療育手帳			年金受給者			
	A	B	計	障害基礎 年金	障害厚生 年金	その他	計
児童部	18		18	13			13
成人部	51		51	51			51
高齢期更生部	15	12	27	26	1	5	32
重複更生部	19	6	25	25			25
計	103	18	121	115	1	5	121



# 6 入所児・者の年度別退所状況(昭和46年度～平成7年度)

(人)

退所先	部 課	退 所 年 度																											
		46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7			
家庭 復帰	児			1	1	1	1	1				1		1									2						
	成																												
	高																												
	重 社	1	2	1	1	2	4	9	2	1		2	3		1		1					1							
他施設	児					1	3	4	5	9	1	23	8	1	3	1	5	8	1	2	4	1	1	5	1	1			
	成																												
	高																												
	重 社	1				1	4		3	15	15	20	12	4	1	2	1	5	2	2	5	2	5	2	3	12			
GH	児																												
	成																												
	高																												
	重 社				1	2	11	1	11	5	16	34	33	11	3	5	5	12	2	15	10	5	6	11	9	14			
児→更 児→成 成→高 成→重 高→重 高→社 重→高 重→授 授→更 授→高 授→重 社→高 社→重	児							5	1		2		2				1		1			1	1	1					
	児																												
	成																												
	成																												
	高																												
	高																												
	社																												
	重																												
	重		19	13	17		3	3	1			5	2	4	4			2		3	2		3	1					
	授										1	9	1				1	1				1	1			16			
	授				1																								
	授																												
授																													
社																													
社																													
入院	児				1				1	1																			
	成																												
	高		3	1			1			3	1				2	2		1								2			
	重 社		3	4	2	2	5	3	3	3	3	5		3	3	2	1		3	1	2	2		1	1				
死亡	児				1			1				1	1				3				2			1					
	成																												
	高																												
	重 社				1		2						1			1				1				1	2				
その他	児																												
	成																												
	高																												
	社																												
就職	児																												
	成																												
	高																												
	重 社			1	14	5	18	29	21	16	11	18	13	15	19	15	9	10	21	21	18	23	16	11	6	2			
作業所	児																												
	成																												
	高																												
	重 社								1		2	1	1	2	2	2	2	8	3		2	3	4	5	2	4			
計	児			1	3	2	4	11	7	10	3	25	9	4	3	1	8	9	1	3	6	1	4	7	2	1			
	成																												
	高																												
	重 社	2	24	15	18	3	13	12	7	19	16	27	17	8	8	4	2	9	3	5	7	3	8	3	5	13			
総計		2	29	26	50	21	59	70	59	63	55	121	83	43	48	36	37	56	36	50	53	47	42	43	33	55			

※ 1 昭和46年～平成21年までは、退所理由で分類してある。就職と同時に通勤寮等の他施設も利用する場合は「就職」に計上し  
2 平成22年からは、退所後の生活の場で分類し、新たに「GH」を追加した。  
3 [授](授産課)は[社](社会復帰部)に計上してある。

# 6 入所児・者の年度別退所状況(平成8年度～令和6年度)

(人)

退所先	部 課	退 所 年 度																														計
		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6		
家庭 復帰	児										2								1												12	
	成					1																									1	
	高					1							1	2	1																5	
	重		1																												32	
他施設	社		3	2		1	1	3	4	3	4	1				3	4	1		4											180	
	児	2				2	1		1	1		1						1	2	1				1			1				102	
	成				2	1	2		1			1		1	2	2		1	2	1	2	3	1	2	2	1	1		3	1	32	
	高					12	5	2	6	4	2	5	5	1	1	3	2	1		1	1	4	1	1	1			1			59	
GH	重	5	3	11	22	21	2		2	5	3		1	1	1	1	1	1		1		1	2	2	1						204	
	社	24	10	20	19	50	5	2	2	1	10	3	3		1	1															373	
	児																															
	成																															
児→更 児→成 成→高 成→重 高→重 高→社 重→高 重→授 授→更 授→高 授→重 社→高 社→重	児																															
	成																															
	高																															
	重																															
入院	高																															
	重																															
	社																															
	児																															
死亡	成																															
	高																															
	重																															
	社																															
その他	児																															
	成																															
	高																															
	社																															
就職	児																															
	成																															
	高																															
	重																															
作業所	社	6	8	3	3	5	3	3	3	3	3	6	1		1																	
	児																															
	成																															
	重		2	2																												
計	社	1		1	2	4	3	9	2	8	3	13	2	14																		
	児	3	47		1	2	4	1	1	2	2	2			2	2		2	3	1	1		2	1		3	1		1		209	
	成				4	1	6	1	1		1		2	1	2	3	3	1	3	3	1	4	2	4	3	1	2	6	5	2	65	
	高					14	14	7	8	4	7	7	5	2	5	6	6	2	1	4	2	4	3	4	3	1	1	2	1	2	1	116
総計	重	5	6	13	22	31	4	1	2	6	5	2	2	3	3	3	2	2		4	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2		382
	社	32	28	27	28	71	15	20	12	16	21	24	9	17	3	8	12	7	4	19												1,211
	児	40	81	44	66	124	31	31	19	32	35	35	14	27	17	22	17	15	14	27	11	9	9	8	8	6	6	8	10	3	1,983	
	成																															

※ 1 昭和46年～平成21年までは、退所理由で分類してある。就職と同時に通勤寮等の他施設も利用する場合は「就職」に計上した。  
 2 平成22年からは、退所後の生活の場で分類し、新たに「GH」を追加した。  
 3 [授](授産課)は[社](社会復帰部)に計上してある。

## 7 新規入所者の入所時年齢

令和6年4月1日～令和7年3月31日における新規入所者については、児童部に女児が1人入所。入所時の年齢は9歳。

## 8 新規入所者の入所前状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日現在 (人)

施設等		部	児童部	成人部	高齢期 更生部	重複更生部	計
在宅			1				1
施設	福祉型障害児入所施設						0
	医療型障害児入所施設						0
	障害者支援施設						0
	児童養護施設						0
	児童自立支援施設						0
精神病院							0
その他							0
計			1	0	0	0	1
日中活動 (再掲)	特別支援学校						0
	普通学校内 特別支援学級						0
	普通学校						0
	日中活動系事業所等						0
	就労						0

## 9 入所者の当初診療室における診療状況

### (1) 受診等状況 R6.4～R7.3

課等	一般診療		精神科		歯 科		皮膚科	
部課	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
児童部	17	195	9	172	17	56		51
成人部	54	1,074	45	871	54	230		157
高齢期更生部	25	355	10	191	25	114		53
重複更生部	23	346	8	132	22	83		75
合 計	119	1970	72	1366	118	483		336

注 実人数とは定期処方のある利用者数 皮膚科は定期処方がないため記載なし

### (2) 常時服薬者数

部 課	児童部	成人部	高齢期更生部	重複更生部	計
内 科	11	39	17	14	81
精神科	8	46	10	8	72
抗てんかん薬	8	34	4	8	54
糖尿病用剤	0	0	1	0	1
高血圧治療剤	0	4	4	3	11
脂質異常症治療剤	0	4	4	3	11
合 計	27	127	40	36	230

### (3) 健康診断結果

#### ①内科健康診断

部課	児童部		成人部		高齢更生部		重複更生部		計	
項目	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期
受検者数	17	17	54	53	25	24	23	23	119	117
有指示者数	4	3	2	1	6	3	5	3	17	10

注 有指示者とは健康診断の結果、経過観察・医療機関受診等医師から指示された者

#### ②歯科検診

項目 部課	児童部		成人部		高齢更生部		重複更生部		計	
受検者数	17		54		25		22		118	
齲歯保有状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注 下段太枠は保有者数 右数字は本数

### (4) 調剤状況

	内 科		精神科		歯科		合計
	定期	臨時	定期	臨時	定期	臨時	
院内処方	0	455	0	5	0	14	474
院外処方	968	328	907	0	0		2,203 (件)

\*R4.4～院外処方はさくら町調剤薬局へ依頼

臨床検査部門

(1) 検査状況

項 目	尿検査	血液検査	脳 波	心電図	合 計
件 数	258	5,169	0	76	5,503

(2) 迅速検査

項目	便潜血検査	インフルエンザ	ノロウイルス	コロナ	その他	合計
年間延件数	118	38	4	37	4	201

(3) 食事介助（職員）と入所者の腸内細菌検査実施状況

項目	検査実施数	陽性数
年間延件数	940	0

## 10 入所児等々の給食状況

○一般食の給食数

	朝 食						昼 食					合計
	入所児	入所者	職 員	検食	その他	合計	入所児	入所者	職 員	検食	その他	
年間総数	1,613	40,770	0	3,109	0	45,492	1,614	40,387	0	3,099	0	45,100
月 平 均	134	3,398	0	259	0	3,791	135	3,366	0	258	0	3,759

※1 その他は、見学者等      ※2 短期入所、日中一時支援含む

(食)

	夕 食						間 食(児童部のみ)		
	入所児	入所者	職 員	検食	その他	合計	入所児	検食	合計
年間総数	1,644	40,810	0	3,112	0	45,566	1,627	1,004	2,631
月 平 均	137	3,401	0	259	0	3,797	136	84	220

○特別食（再掲） (食)

	朝 食	昼 食	夕 食	実習弁当
年間総数	2,108	2,046	2,110	0
月 平 均	176	171	176	0

※特別食とは、医師からの指示により食事内容を調整している食事

○給与栄養量（1日当たり）

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
平 均	1,828	79.0	51.0	531	9.0	614	3.30	1.30	132
基 準 値	1,829	60.0	40.6～61.0	700	7.7	900	1.30	1.40	100

※保健所報告より

# 11 短期入所及び日中一時支援事業の実施状況

(延日数)

部	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	
児童部	短期入所		13	15		7	4	6	4					49	73
	日中一時支援		1		4	8	4	5	2					24	
成人部(1寮)	短期入所	2	2	2	2	2	2	2	2	2		2	2	22	30
	日中一時支援					1	1	1	1	2	1		1	8	
成人部(2寮)	短期入所	8	2	11	6	7	7	8	7	9		2	6	73	101
	日中一時支援	3	3	3	3	1	4	3	2	2		2	2	28	
成人部(3寮)	短期入所				2	2	2	2	3	3		2	3	19	21
	日中一時支援		1	1										2	
高齢期更生部	短期入所										2		2	4	6
	日中一時支援								1	1				2	
重複更生部	短期入所	2	4	4	2	2	4	8	15	2	18	28	35	124	213
	日中一時支援	6	10	5	12	8	9	6	8	7	9	4	5	89	
計	短期入所	12	21	32	12	20	19	26	31	16	20	34	48	291	444
	日中一時支援	9	15	9	19	18	18	15	14	12	10	6	8	153	
	計	21	36	41	31	38	37	41	45	28	30	40	56	444	
実人数 (人)		5	8	8	9	8	9	9	11	10	7	7	9		

## 12 実習生受入状況

No.	学校名	実習期間	人数	配属部
1	東京福祉大学	5月27日(月) ～ 7月2日(火)	1	高齢期更生部
2	新潟医療福祉大学	8月19日(月) ～ 9月19日(木)	1	重複更生部
3	新潟医療福祉大学	2月12日(水) ～ 2月21日(金)	1	高齢期更生部
4	新潟県立大学	2月25日(火) ～ 3月6日(木)	1	重複更生部
合計 人数4人 延べ64日				

## 13 ボランティア受け入れ状況

	月 日	団体名、個人	市町村	人数	受入部	内 容
1	7月14日	AFFETTO	長岡市	2	重複更生部	歌・演奏
1団体／個人0人 (延べ 2 人)						

## 14 視察者・見学者受け入れ状況

月	視察団体数	視察者人数	県 内											県 外					
			施設関係	特別支援学校	保護者・本人	民生委員	社協関係	保護者会	育成会	老人会	学校学生	その他	小計	施設関係	保護者会	民生委員	学校学生	その他	小計
4	2	7			4								4	3					3
5																			
6	2	5	2		3								5						
7	6	41	27		14								41						
8	3	14	10		4								14						
9	2	7	7										7						
10	4	14	2		6	6							14						
11	7	51	16		3	16							35			16			16
12	3	10	5		3						2		10						
1																			
2	1	2			2								2						
3	4	9			5						1		6				3		3
合計	34	160	69		44	22					3		138	3		16	3		22



## 15 会議・職員研修

### (1) 会議（委員会）

#### ○全体

会議（委員会）名	開催日	回数
運営会議	毎週火曜日	57
衛生委員会	毎月第4水曜日	11
給食運営委員会	毎月第3木曜日	10
サービス検討委員会	毎月第2水曜日	10
虐待防止・身体拘束適正化委員会	毎月第2水曜日	8
事故防止検討・対策部会	毎月第1木曜日	6
研修部会	隔月第3火曜日	5
業務改善部会	毎月第1水曜日	5
治療保健担当者会議	指定月第1月曜日	5

#### ○児童部

会議（委員会）名	開催日	回数
部内会議	毎月第2木曜日	11
支援会議（臨時含む）	毎月第2・4曜日	26
日中活動支援会議	毎月第1・3木曜日	21
合同企画会議	毎月第1木曜日	12
寮・日中活動支援連絡会議	奇数月第2月曜日	6

#### ○成人部

会議（委員会）名	開催日	回数
部企画会議	毎月第4木曜日	10
部内会議	毎月第2木曜日	10
支援会議	毎月第2・4木曜日	78
合同企画会議	毎月第2木曜日	7
寮・日中活動支援連絡会	奇数月第2月曜日	6

#### ○高齢期更生部

会議（委員会）名	開催日	回数
企画会議	毎月第4木曜日	10
部内会議	毎月第4木曜日	2
支援会議	毎月第2木曜日	33
寮会議（男子寮・女子寮）	毎月第1木曜日	57

#### ○重複更生部

会議（委員会）名	開催日	回数
企画会議	毎月最終木曜日	10
部内会議	毎月第1木曜日	7
支援会議	毎月第4木曜日	28
寮会議（男子寮・女子寮）	毎月第3木曜日	48

## (2) 職員研修

	研修名	実施年月日	参加人数
施設内研修	事故防止対策研修	R6. 4. 25	11
	感染症(食中毒)まん延防止訓練	R6. 5. 16	9
	身体拘束廃止	R6. 5. 23	4
	個別支援計画作成研修	R6. 7. 3	10
	救急法	R6. 9. 25	27
		R6. 11. 15	
	身体拘束等適正化研修	R6. 9. 25	5
	感染症(食中毒)まん延防止研修	R6. 10. 15	17
		R6. 12. 19	
	摂食嚥下に関する支援研修会	R6. 10. 23	13
	事故防止対策研修	R6. 11. 7	17
	虐待防止・身体拘束等適正化研修	R6. 12. 4～R7. 1. 15	136
施設外研修	BCP(防災)研修・訓練	R6. 12. 19	133
		R6. 1. 9～R6. 3. 31	
	令和6年度新潟県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修(講義)	R6. 7. 2～3	3
	第47回てんかん基礎講座	R6. 7. 23～24 R6. 8. 3	1
	令和6年度中核の人材養成研修	R6. 8. 26、9. 27、10. 29、12. 6、 12. 24、2. 10、3. 25	1
	令和6年度強度行動障害支援者養成研修(基礎)	R6. 9. 7～8	10
		R6. 9. 12～13	
	令和6年度強度行動障害支援者養成研修(実践)	R6. 11. 28～29	7
	令和6年度社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け国内研修	R6. 10. 21～24	1
	令和6年度サービス管理責任者更新研修	R7. 1. 30～31	2
		R7. 2. 27～28	
	令和6年度社会福祉士実習指導者講習会	R7. 2. 8～9、R7. 2. 23	2
	2024年度日本障害者虐待防止学会学術集会	R7. 2. 24	2

## 第2 令和5年度実績

### 1 市町村別・部別入所者数

令和6年3月31日現在 (人)

市町村	部	児童部		成人部		高齢期 更生部		重複更生部		計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
聖籠町		0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2
弥彦村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田上町		0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
阿賀町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出雲崎町		0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
湯沢町		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
津南町		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
刈羽村		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
関川村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
粟島浦村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町村計		1	1	2	1	2	0	0	0	5	2	7
新潟市		7	0	15	10	6	2	4	1	32	13	45
長岡市		4	0	4	3	4	2	2	6	14	11	25
上越市		1	0	2	0	1	1	1	0	5	1	6
三条市		0	0	1	0	1	0	3	2	5	2	7
柏崎市		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
新発田市		1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2
小千谷市		0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	3
加茂市		0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	3
十日町市		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
見附市		0	0	0	2	1	1	0	0	1	3	4
村上市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燕市		1	0	5	0	2	2	3	1	11	3	14
糸魚川市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
妙高市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五泉市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐渡市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿賀野市		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
魚沼市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南魚沼市		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
胎内市		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市計		15	0	35	17	15	8	13	10	78	35	113
県計		16	1	37	18	17	8	13	10	83	37	120
県外		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		16	1	37	18	17	8	13	10	83	37	120

## 2 入所者の障害支援区分及び入所児の障害程度

令和6年3月31日現在（人）

障害支援区分 入所施設		6	5	4	3	2	1
児童部 (区分認定済み者)	男	11	2				
	女						
	計	11	2				
成人部	男	26	9	2			
	女	12	6				
	計	38	15	2			
高齢期更生部	男	3	5	7	2		
	女	1	4	2	1		
	計	4	9	9	3		
重複更生部	男	1	8	3		1	
	女	7	2		1		
	計	8	10	3	1	1	
合計	男	41	24	12	2	1	
	女	20	12	2	2		
	計	61	36	14	4	1	

令和6年3月31日現在（人）

障害程度 入所施設		障害程度		
		最重度	重度	中・軽度
児童部 (児童のみ計上)	男	3		
	女	1		
	計	4		

### 3 入所者の在所期間

令和6年3月31日現在 (人)

期 間 部		1 年 未 満	1 ～ 2	2 ～ 3	3 ～ 4	4 ～ 5	5 ～ 6	6 ～ 7	7 ～ 8	8 ～ 9	9 ～ 10	10 ～ 11	11 ～ 12	12 ～ 13	13 ～ 14	14 ～ 15	15 ～ 16	16 ～ 17	17 ～ 18	18 ～ 19	19 ～ 20	20 年 以 上	総 計	
児童部	男			2			1												1		1	11	16	17
	女	1																					1	
成人部	男	1		1				2		1	2	1	2			1	1					25	37	55
	女	1			1				1		1	2	1		1	1	1	1	1		1	5	18	
高齢期更生部	男						1			1	2			1	2	1	2		1		1	5	17	25
	女		1		1															1		5	8	
重複更生部	男						1								1			1	1			9	13	23
	女		2														1					7	10	
計	男				0			2			4	1	2	1	3	2	3	1	3	0	2	50	83	120
	女	2	3			0				0		2	1	0		1	2	1			1	17	37	

※ 在所期間の算出方法は、各部の入所時から換算した。(コロニーにおける在所期間ではない。)

#### 4 入所者の年齢構成

令和6年3月31日現在 (人)

部 年齢	児童部			成人部			高齢期更生部			重複更生部			計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
8													
9													
10	1		1										1
11													
12	1		1										1
13		1	1										1
14													
15													
16													
17	1		1										1
18													
19													
20													
21													
22													
23				1		1							1
24													
25													
26													
27				1		1							1
28					1	1							1
29													
30													
31													
32					1	1							1
33	1		1		2	2							3
34													
35	1		1		3	3							4
36	2		2	2		2							4
37				3	1	4							4
38				1	1	2							2
39				1		1							1
40	3		3	1	1	2							5
41	3		3										3
42	1		1										1
43	1		1	1		1					1	1	3
44	1		1	2		2				1	1	2	5
45				2		2	1	1	2				4
46				2	1	3				1		1	4
47				5	1	6							6
48				1		1	1		1	1		1	3
49					1	1							1
50				3		3	2		2				5
51				3		3							3
52				1	1	2	1		1		1	1	4
53											1	1	1
54					1	1							1
55				2		2					2	2	4
56					1	1							1
57					1	1	1		1	1		1	3
58				1		1				1		1	2
59										1		1	1
60				1		1				1	1	2	3
61								1	1				1
62				2		2				1		1	3
63				1		1	2		2				3
64							2		2	2		2	4
65													
66							1		1		1	1	2
67							1	1	2	1		1	3
68											1	1	1
69							2		2		1	1	3
70								1	1				1
71							1		1	2		2	3
72													
73					1	1		1	1				2
74							1	3	4				4
75													
76													
77													
78							1		1				1
79													
80													
計	16	1	17	37	18	55	17	8	25	13	10	23	120

## 5 入所者の手帳所持・年金受給状況

令和6年3月31日現在（人）

	身体障害者手帳所持							精神障害者保健福祉手帳			
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	1級	2級	3級	計
児童部	1	1					2				
成人部	2	2		1	1	2	8				
高齢期更生部		1	1		1	1	4		1		1
重複更生部	3	4	7	3		4	21				
計	6	8	8	4	2	7	35		1		1

※異なる種類の身体障害が重複する利用者については、総合等級を基に集計する。

（身体障害内訳）

	視覚	聴覚	平衡	音声・言語または 咀嚼機能	肢体 不自由	内部 障害
児童部	1				1	
成人部		2			4	
高齢期更生部		1			3	
重複更生部	1	6		3	14	1

※異なる種類の身体障害が重複する利用者は、障害種別に計上するため身体障害者手帳所持者の実数と異なる。

	療育手帳			年金受給者			
	A	B	計	障害基礎 年金	障害厚生 年金	その他	計
児童部	17		17	13			13
成人部	55		55	53			53
高齢期更生部	13	12	25	21	3	1	25
重複更生部	17	6	23	23			23
計	102	18	120	110	3	1	114

# 6 入所児・者の年度別退所状況(昭和46年度～平成7年度)

(人)

退所先	部 課	退 所 年 度																											
		46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7			
家庭 復帰	児			1	1	1	1	1				1		1									2						
	成																												
	高																												
	重 社	1	2	1	1	2	4	9	2	1		2	3		1		1					1							
他施設	児					1	3	4	5	9	1	23	8	1	3	1	5	8	1	2	4	1	1	5	1	1			
	成																												
	高																												
	重 社	1				1	4		3	15	15	20	12	4	1	2	1	5	2	2	5	2	5	2	3	12			
GH	児				1	2	11	1	11	5	16	34	33	11	3	5	5	12	2	15	10	5	6	11	9	14			
	成																												
	高																												
	重 社																												
児→更	児						5	1		2			2				1		1			1	1	1					
児→成	児																												
成→高	成																												
成→重	成																												
高→重	高																												
高→社	高																												
重→高	重																												
重→授	重		19	13	17		3	3	1			5	2	4	4			2		3	2		3	1					
授→更	授				1						1	9	1				1	1				1	1		16				
授→高	授																												
授→重	授																												
社→高	社																												
社→重	社																												
入院	児				1				1	1																			
	成																												
	高																												
	重 社		3	1			1			3	1				2	2		1							2				
死亡	児				1			1				1	1				3				2			1					
	成																												
	高																												
	重 社				1		2						1			1				1				1	2				
その他	児																												
	成																												
	高																												
	社																												
就職	児																												
	成																												
	高																												
	重 社			1	14	5	18	29	21	16	11	18	13	15	19	15	9	10	21	21	18	23	16	11	6	2			
作業所	児																												
	成																												
	高																												
	重 社								1										1						1				
計	児			1	3	2	4	11	7	10	3	25	9	4	3	1	8	9	1	3	6	1	4	7	2	1			
	成																												
	高																												
	重 社	2	24	15	18	3	13	12	7	19	16	27	17	8	8	4	2	9	3	5	7	3	8	3	5	13			
総計		2	29	26	50	21	59	70	59	63	55	121	83	43	48	36	37	56	36	50	53	47	42	43	33	52			

※ 1 昭和46年～平成21年までは、退所理由で分類してある。就職と同時に通勤寮等の他施設も利用する場合は「就職」に計上し  
2 平成22年からは、退所後の生活の場で分類し、新たに「GH」を追加した。  
3 [授](授産課)は[社](社会復帰部)に計上してある。



(人)

※ 1 昭和46年～平成21年までは、退所理由で分類してある。就職と同時に通勤寮等の他施設も利用する場合は「就職」に計上した。  
2 平成22年からは、退所後の生活の場で分類し、新たに「GH」を追加した。  
3 「授」(授産課)は「社」(社会復帰部)に計上してある。

## 7 新規入所者の入所時年齢

令和5年4月1日～令和6年3月31日における新規入所者については、  
 児童部に12歳の女児が1名入所。  
 成人部は34歳の女性が1名、22歳の男性が1名入所。

## 8 新規入所者の入所前状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日現在 (人)

施設等		部	児童部	成人部	高齢期 更生部	重複更生部	計
在宅			1	2			3
施設	福祉型障害児入所施設						0
	医療型障害児入所施設						0
	障害者支援施設						0
	児童養護施設						0
	児童自立支援施設						0
精神病院							0
その他							0
計			1	2	0	0	3
日中活動 (再掲)	特別支援学校						0
	普通学校内 特別支援学級						0
	普通学校						0
	日中活動系事業所等						0
	就労						0

## 9 入所者の当初診療室における診療状況

### (1) 受診等状況 R5. 4～R6. 3

課等 部課	一般診療		精神科		歯 科	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
児童部	16	184	9	173	15	68
成人部	57	924	45	790	52	247
高齢期更生部	27	382	11	209	25	91
重複更生部	25	289	8	139	22	106
合 計	125	1779	73	1311	114	512

### (2) 常時服薬者数

部 課	児童部	成人部	高齢期更生部	重複更生部	計
内 科	8	42	18	16	84
精神科	9	45	11	8	73
抗てんかん薬	8	34	4	8	54
糖尿病用剤			1		1
高血圧治療剤		4	4	3	11
脂質異常症治療剤		4	4	3	11
合 計	25	129	42	38	234

### (3) 健康診断結果

#### ①内科健康診断

部課 項目	児童部		成人部		高齢更生部		重複更生部		計	
	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期
受検者数	16	16	57	56	27	27	25	25	125	124
有指示者数	4	3	2	1	6	3	5	3	17	10

注 有指示者とは健康診断の結果、経過観察・医療機関受診等医師から指示さ

#### ②歯科検診

項目 部課	児童部	成人部	高齢更生部	重複更生部	計
受検者数	17	54	26	23	120
齲歯保有状況					

注 下段太枠は保有者数 右数字は本数

### (4) 調剤状況

	内 科		精神科		歯科		合計
	定期	臨時	定期	臨時	定期	臨時	
院内処方		511		11		10	532
院外処方	983	236	895	225			2,339

(件)

\*R4. 4～院外処方はいくら町調剤薬局へ依頼

臨床検査部門

(1) 検査状況

項 目	尿検査	血液検査	脳 波	心電図	合 計
件 数	264	5,234	0	88	5,586

(2) 迅速検査

項目	便潜血検査	インフルエンザ	ノロウイルス	コロナ	その他	合計
年間延件数	116	33	1	181		331

(3) 食事介助（職員）と入所者の腸内細菌検査実施状況

項目	検査実施数	陽性数
年間延件数	1590	0

## 10 入所児等々の給食状況

○一般食の給食数

	朝 食						昼 食					合計
	入所児	入所者	職 員	検食	その他	合計	入所児	入所者	職 員	検食	その他	
年間総数	1,340	42,376	0	3,113	0	46,829	1,298	41,777	0	3,110	0	46,185
月 平 均	112	3,531	0	259	0	3,902	108	3,481	0	259	0	3,848

※1 その他は、見学者等      ※2 短期入所、日中一時支援含む

	夕 食						(食) 間 食(児童部のみ)		
	入所児	入所者	職 員	検食	その他	合計	入所児	検食	合計
年間総数	1,341	42,415	0	3,114	0	46,870	1,186	952	2,138
月 平 均	112	3,535	0	260	0	3,907	99	79	178

○特別食（再掲） (食)

	朝 食	昼 食	夕 食	実習弁当
年間総数	1,516	1,493	1,516	0
月 平 均	126	124	126	0

※特別食とは、医師からの指示により食事内容を調整している食事

○給与栄養量（1日当たり）

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μg)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
平 均	1,836	75.6	52.5	563	9.4	643	3.25	1.28	121
基 準 値	1,908	55.0	42.2～63.6	700	7.7	900	1.30	1.40	100

※保健所報告より

## 11 短期入所及び日中一時支援事業の実施状況

(延日数)

部	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	
児童部	短期入所	30	31	30	31	18								140	140
	日中一時支援													0	
成人部 (1 寮)	短期入所		6	4		14	2	2	3	3	4	2	2	42	44
	日中一時支援							1					1	2	
成人部 (2 寮)	短期入所			3			3	2		2	4	2	10	26	60
	日中一時支援		1	4		2	4	4	6	5	4	2	2	34	
成人部 (3 寮)	短期入所		2								2			4	14
	日中一時支援			2		1	1	2	1	1		1	1	10	
高齢期更生部	短期入所														0
	日中一時支援														
重複更生部	短期入所		2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	40	143
	日中一時支援	7	8	4	9	10	9	11	7	9	10	10	9	103	
計	短期入所	30	41	41	35	36	9	8	7	9	14	8	14	252	401
	日中一時支援	7	9	10	9	13	14	18	14	15	14	13	13	149	
	計	37	50	51	44	49	23	26	21	24	28	21	27	401	
実人数 (人)		2	6	8	4	6	6	9	10	9	9	7	7	83	



## 第 3 部 年表



## コロニーにいがた白岩の里 沿革

- 昭和 40. 10 県社会・児童福祉審議会が総合施設コロニーの設置について答申  
 43. 6 県心身障害児者総合施設建設委員会を設置  
 43. 11 コロニー建設地を三島郡寺泊町地内に決定  
 44. 3 コロニー基本計画を策定  
       コロニー運営基金を創設  
 44. 4 コロニー建設準備室を設置  
 44. 6 名称を「コロニーにいがた白岩の里」に決定  
 44. 12 コロニー建設基本計画（5ヶ年計画）を策定  
 45. 5 コロニー入所選考基準を策定  
 45. 6 起工式  
 46. 6 運営開始、更生居住棟入所（定員 100 人）  
 46. 8 開所式  
 47. 4 第1授産居住棟入所（定員 100 人）  
 47. 5 天皇、皇后両陛下行幸啓  
 47. 10 秩父宮妃殿下御視察  
 48. 4 重度児居住棟入所（定員 50 人）  
       第2授産居住棟入所（定員 100 人）  
 48. 5 体育館完成  
 49. 4 重度児居住棟入所（定員 50 人）  
       第3授産居住棟入所（定員 100 人）  
       竣工式 参式者 約 600 名  
 49. 9 常陸宮妃殿下御視察  
 50. 3 建設基本計画の全工事完了  
 50. 7 プール完成  
 51. 5 屋外グラウンド完成  
 54. 4 吉田養護学校白岩分室開設  
 57. 4 重度児居住棟入所定員変更(減)（定員 75 人）  
       治療訓練棟開設
- 平成 4. 3 スプリンクラー工事完了  
       8. 3 改築整備基本計画を策定  
       8. 11 改築整備起工式  
 10. 3 第3授産居住棟閉所（定員削減 100 人）  
 10. 4 児童棟(定員 25 人)、成人棟(定員 75 人) 開所  
       吉田養護学校白岩分室高等部開設  
 11. 3 第2授産居住棟閉所（定員削減 100 人）  
       更生居住棟入所定員変更(減)（定員 50 人）  
 11. 4 企画相談室開設  
 11. 7 高齢期更生棟(定員 50 人)開所  
 12. 6 重複更生棟(定員 50 人)開所  
 13. 3 第1授産居住棟閉所  
 13. 4 社会復帰棟(定員 100 人)開所  
 14. 4 皇太子、皇太子妃両殿下行啓  
 22. 4 成人部新事業体系移行  
 23. 4 重複更生部新事業体系移行  
 24. 4 高齢期更生部、社会復帰部新事業体系移行（社会復帰部定員 50 人）  
 25. 7 総合管理棟耐震工事完了（H24. 10～）  
 28. 10 旧重度児居住棟解体
- 令和 3. 4 児童部を児者併設施設に再編  
       障害児入所施設（定員 10 人）障害者支援施設（定員 15 人）  
       5. 7 新潟県が社会福祉法人 長岡福祉協会を指定管理者として指定  
       5. 9 指定管理者制度移行に伴う「コロニーにいがた白岩の里条例」改正  
       5. 3 社会復帰部事業廃止  
       6. 4 社会福祉法人 長岡福祉協会が運営開始  
       成人部(60 人)、高齢期更生部(30 人)、重複更生部(30 人)へ定員変更